



同じ地域に住んでいる人同士が、助け合って生活していこうとする考え方は、今も昔も変わっていません。自治会は、清掃活動など普段からの活動を通して一体感を高め、住みよい地域をつくっていくための、最も身近な住民組織の一つです。

このコラムでは、身近な自治会が他の団体と力を合わせ、安全で安心して暮らせる地域づくりのために行っている活動を紹介していきます。

今回は、岸町地域自主防犯ステーションを紹介します。ここでは主に、岸町2丁目の旧岸町交番を活用して、岸町1~3丁目の自治会役員、PTA役員、ボランティア等が地域内パトロールや登下校児童の安全を見守るための活動を行っています。平成18



年から活動を始め、防犯ブレードの設置、警察と協力し青色回転灯装備車のパトロールによる犯罪防止の広報活動等を行い、年金支給月には、振り込め詐欺防止として、町内のコンビニATMの見回りなども行っています。このような活動を通して、一人ひとりの防犯意識が高まり犯罪抑止効果が生まれています。岸町地域自主防犯ステーションの活動は、地域の安全を守る大きな力となっています。

市民とともにつくる

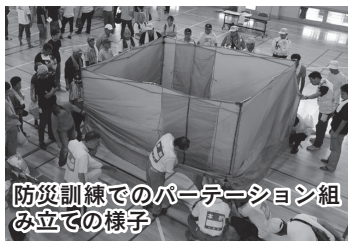
安全で安心なまち川越

防災危機管理課 0224-5554

川越市地域防災計画について

皆さんは防災についてどのように考えていますか？ 自分は大丈夫、と思っていないでしょうか？ 災害はいつどこで起きるか分かりません。そんな災害に対して、市では災害に強いまちづくりを目指し、地域防災計画を定めています。この計画は、皆さんの生命、身体および財産を守るため、①防災に対する考え方、②平時からの備え、③災害発生時の対応、④災害復旧および復興計画など、一連の対策をまと

めています。しかし、計画を実行し、災害の予防や被害の軽減を図ることは、行政だけの力ではできません。皆さんの日ごろからの災害への備えと地域の組織的な対応が大きな力となります。特に、高齢者や障害のある方、乳幼児がいる家族への支援には、地域の協力が必要です。そのため、市では防災という共通の目的を持って結成される自主防災組織の育成や強化、防災に対する意識や知識の普及啓発を図り、市民と行政が一体となった防災体制の整備を進めていきます。



ごみ処理とぴつくす

「きれいなまち、川越」を世界へ！

資源循環推進課 0239-6267

ごみの分別意識が高まり、きちんと管理されている集積所が増えてきました。集積所が清潔に片付いていると、まち全体がきれいに見えてきます。

しかし中には、収集日の前日からごみを出し、カラスや猫などに荒らされた集積所を見かけることもあります。また、適切に分別されていないごみや、収集車の回収後に残ったごみが残っている集積所を見ると残念な気持ちになります。集積所を清潔に保つためには、ごみネットを上手に活用することもひとつの方法です。

2020年東京オリンピックのゴルフ競技は、川越市で開催される予定です。利用者全員がルールを守り、協力することで、集積所を清潔に保ち、きれいなまちで世界中からのお客さまをお迎えしましょう。



*ごみネット等集積所については収集管理課 0239-5058にお尋ねください



市長 からの 手紙

36 最近の卒業式に思う

4月になり暖かさが増し、入学式や入社式など新たな出会いが始まる時期になりました。制服やスーツに身を包んだ若人の姿を見ると、3月の卒業式が思いだされます。川越市には、小学校32校、中学校22校、高等学校1校、特別支援学校1校の合計56校の市立学校があり、学校の設置者として卒業式には市から必ず出席しています。各小学校と各中学校はそれぞれ同じ日に卒業式を行うため、私は毎年、行く先の学校を替えて順番に出席し、その他の学校については副市長や部長などが出席しています。

私はこれまで小学校・中学校5校ずつの卒業式に出席しました。学校によって少しずつ違いがありますが、いずれも厳粛で感動的な卒業式でした。以前、卒業式で歌う曲は「仰げば尊し」や「蛍の光」が定番でしたが、最

近は「旅立ちの日に」を歌う学校が多いようです。中学校では、かなりハイレベルな合唱を聞かせてくれるところが多く、今年、出席した大東中学校の卒業式でも、卒業生の合唱の素晴らしさに感心させられました。

特別支援学校では、毎年「旅立ちの日に」の他に、「そのままの君で」「郷愁歌」という題名の歌を卒業生、在校生が歌います。2曲とも、卒業式で初めて聞いた歌でしたが、歌詞やメロディーが子どもたちの純真な心そのものを表現していて、大変感動しました。

また、在校生の「送ることば」に対する、卒業生の「別れのことば」も立派なものが多いという印象があり、この5年間の間にも中学校・市立高校で、大人顔負けのしっかりした答辞に、たびたび聞きほれたことがあります。「今どきの子どもたちは…」という否定的な評価をしている人たちにも、ぜひ聞いていただきたい内容でした。

卒業式に出席していつも思うのは、この子どもたち全員がそれぞれ幸せな人生を送ってほしいということと、先輩である大人として、また地方行政に携わるものとして、なすべきことをしっかりやらなければならないということです。

川越市長 川合善明

未来に向けて①

次期総合計画の策定を進めています

政策企画課 224・5503

皆さんは、総合計画をご存知ですか？総合計画とは、市民と行政にとって、まちづくりを進める上での指針となるもので、目指すべき将来都市像を描き、その実現に向けた目標や必要な施策を定めるものです。現在は、平成27年度を目標年次とする第三次川越市総合計画に基づいてまちづくりを進めています。

市では、平成28年度からの次期総合計画の策定を進めるにあたり、皆さんの意見を反映した分かりやすい計画を策定したいと考えています。

昨年度はその第一歩として、まちづくりのアイデアなどについて市民の皆さんの声を聞く「エリアインタビュー」を市内の全公民館で開催しました。リラックスした雰囲気の中で、各地域の「魅力や課題」、「将来、力を入れるべきこと」についてグループに分かれ、テーマごとの話し合いが行われました。参加者からは、地域「コミュニティ」、交通、子育てや高齢者福祉などに力を入れるべきとの意見が多く出されました。



エリアインタビューの様子

これからも、より多くの市民の皆さんから意見を聴くために、気軽に参加できる取り組みを考えていきます。

計画策定の状況などは、今後も広報川越や市ホームページなどでお知らせしていきます。